

＜対策のポイント＞

食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立の実現に向け、スマート農業における優れた技術の横展開のための導入実証等を推進するとともに、農林漁業者等のニーズ、気候変動といった新たな課題、バイオ技術を活用したイノベーション創出等に対応する研究開発等を推進します。

＜事業目標＞

- 農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践〔令和7年まで〕
- 重要課題に対応する技術を開発し、農林漁業者等がその開発された技術を実践〔令和8年度まで〕

＜事業の全体像＞

1. スマート農業の総合推進対策

1,404百万円
【令和3年度補正予算】4,850百万円

① スマート農業社会実装加速化のための技術開発・実証

スマート農業の社会実装加速化のため、先端技術の開発や現場実証を行います。

スマート農業加速化実証プロジェクト



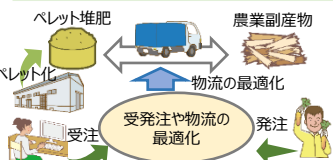
スマート農業技術導入による経営改善効果等を分析・検証

スマート農業産地モデル実証



経営体の枠を超えた産地内でのシェアリングやデータ共有による生産性向上や販売力強化を実証

ペレット堆肥活用促進のための技術開発・実証

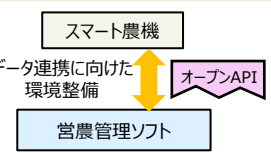


ペレット堆肥の受発注や物流を最適化するシステムの開発、帰り荷となる敷料の探索、現地実証

② スマート農業普及のための環境整備

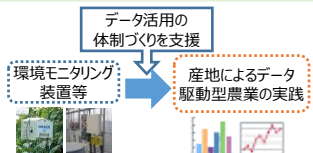
スマート農業を普及させるための環境整備を行います。

農林水産データ管理・活用基盤強化



スマート農機
データ連携に向けた環境整備
オープンAPI
営農管理ソフト

データ駆動型農業の実践・展開支援



データ活用の体制づくりを支援
環境モニタリング装置等
産地によるデータ駆動型農業の実践

スマートグリーンハウス先駆的開拓推進



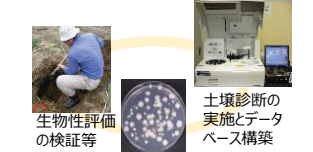
我が国の優れた施設園芸の技術
施設園芸の先駆的開拓
スマート農業技術の進展

農林水産におけるロボット技術安全性確保策検討



自動走行農機
有識者委員会
遠隔監視による自動走行の安全技術等の検証
安全性確保策の検討

データ駆動型土づくり推進



生物性評価の検証等
土壌診断の実施とデータベース構築

スマート農業教育推進



研修会の開催等
スマート農業拠点校の設置

2. 農林水産研究の推進

2,062百万円

① 研究開発

農林水産業・食品産業の持続性を高めるため、国主導で実施すべき重要な研究分野について、戦略的な研究開発を推進します。

現場ニーズ対応型研究



農林漁業者等のニーズを踏まえ、実装まで視野に入れた研究開発を推進
(例) 通常の水管理
小麦の減肥・減農薬栽培技術、深水等雑草抑制技術の開発

革新的環境研究



省力的なIPM技術等の開発の推進や、脱炭素・環境対応技術への取組を強化
(例) 病害虫予報技術、畜産GHG排出削減技術の開発

アグリバイオ研究



グリーンバイオ産業の創出に向けて、昆虫テクノロジーを活用した研究開発等を推進
(例) カイコを活用した循環型生産系、革新的素材の開発

② 環境整備

研究開発と成果の社会実装を効果的に行えるよう、最新の研究開発動向の調査やアウトリーチ活動の強化等の環境整備を行います。

知財マネジメント強化



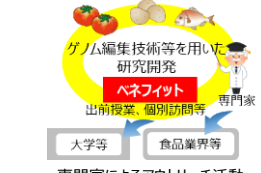
研究成果の効果的な社会実装に向けた知財相談対応、マニュアル整備等を実施
専門家による相談対応やマニュアル整備

海外・異分野動向調査



海外・異分野の研究動向の調査、情報発信（シンポジウム）等の実施
最先端の研究動向、関連施策等を調査

アウトリーチ活動強化



ゲノム編集技術等の社会実装に向けた双方向コミュニケーション等の実施
ゲノム編集技術等を用いた研究開発
ベネフィット
出前授業、個別訪問等
専門家
大学等
食品業界等
専門家によるアウトリーチ活動

【お問い合わせ先】

(1 について) 農林水産技術会議事務局研究推進課 (03-3502-7462)
(2 について) 研究企画課 (03-3501-4609)